

動物の行動と管理学会 2022年度研究発表会プログラム

ハイブリット開催（対面+Zoom利用） 2022年9月1日（木）～2日（金）

対面会場：ハウスクエア横浜

9月1日（木）

口頭発表（優秀発表賞対象）

場所：ハウスクエアホール

時間：10:00～12:00 *各演題は、発表8分+質疑応答5分とする。○は発表者。

No.	時刻	演題および演者	座長
1	10:00	草量減少に伴う北海道和種馬と軽種馬の採食利用場所および選択採食植物の変化と放牧地植生との関係 ○外崎立樹・呉成真・三谷朋弘・上田宏一郎・河合正人（北大院環境科学・北大院農・北大FSC）	新宮裕子
2	10:15	鶏における母子間音声コミュニケーションの理解と制御 ○早川花乃子・橋亮輔・市嶋可奈子・新村毅（東京農工大農・東京大）	
3	10:30	情報工学を用いた採卵鶏の行動の時空間的動態の把握 ○佐藤逸史・宅野亮・藤波香織・新村毅（農工大院農・農工大院工）	
4	10:45	PigSAFEにおける繁殖母豚と子豚の行動及び子豚圧死の発生要因に関する研究 ○徳永有輝・宮浦真弘・山中猛・稲永敏明・伊藤秀一（東海大院農・東海大学農）	
5	11:00	動物園におけるサシバエの飛翔移動高度の推定 ○松田朋丸・生江信孝・風間健心・小針大助（東京農工大学連合農・日立市かみね動物園・茨城大学農）	山梨裕美
6	11:15	飼育ホッキョクグマ母子における産室を出てから子が12ヵ月齢を迎えるまでの相互交渉 ○山本晋・佐野祐介・油家謙二・中道正之・山田一憲（大阪大学大学院人間科学研究科・地方独立行政法人天王寺動物園）	
7	11:30	ハクビシンのハズバンドリートレーニング時において計測可能な心拍センサの開発 ○比江島拓己・野上大史・小野礼・伴和幸・D. S. V. Bandara・荒田純平（九州大・大牟田市動物園・豊橋総合動植物公園）	
8	11:45	飼育下食肉目における体重と環境温度に対する行動反応の関係 ○鈴木悠真・佐藤康弘・二宮茂（岐阜大院自然科学技術・名古屋市東山動植物園・岐阜大応用生物・岐阜大動物園研セ）	

12:00 昼休憩

13:30 役員会

口頭発表（一般発表）

場所：ハウスクエアホール

時間：14:30～16:30 *各演題は、発表8分+質疑応答5分とする。○は発表者。※はオンライン発表。

No.	時刻	演題および演者	座長
1	14:30	飼育環境下におけるニホンライチョウ (<i>Lagopus muta japonica</i>) の成雌および雛の行動 ○岡本真緒・竹田謙一（信州大学院農・信州大学学術研究院農）	伊藤秀一
2	14:45	キリンはお熱いのが好き？ -寒冷時における飲水用給湯の試み- ○岡部光太・福泉洋樹・河村あゆみ・松永雅之・加瀬ちひろ・植竹勝治（京都市動物園・麻布大獣医）	
3	15:00	ワオキツネザル (<i>Lemur catta</i>) における餌の大きさによる行動の違い ○村上翔輝・土井啓行・小畑洋（NIFREL）	
4	※15:15	移動様式の多様化に基づくオランウータン展示場の評価 ○小倉匡俊・紺谷周・西道礼音・樽井奈々子・高田孝慈（北里大獣医・長野市茶白山動物園・長野市城山動物園）	
5	※15:30	日本の動物園における1950年から2022年までに発生した動物による死傷事故の定量的評価 ○伴和幸・野上大史・高見一利（豊橋総合動植物公園・九大院工学研究院）	
6	※15:45	グルーミング中に攻撃性を発現するイヌに関する実態調査 ○堀井隆行・居村沙織（ヤマザキ動物看護大）	二宮 茂
7	※16:00	馬房におけるウマの暑熱ストレス軽減を目指した冷却馬着の効果 ○小島祐輝・島井涼香・前田洋佑・松浦晶央（北里大院獣医・北里大獣医）	
8	16:15	段階的消点灯がブローラーの行動と生産性に与える影響 ○竹田謙一・橋本明生菜・羽多野野司・恩田幸司・山根京平・樋本清一・中久保亮（信州大学学術研究院農・信州大農・信州大院総合理工・中嶋製作所・農研機構畜産）	

9月2日（金）

公開シンポジウム 「動物とコンピューターのインタラクション」

場所：ハウスクエアホール

時間：9:30～12:00

時刻	演題および演者
9:30	アニマルコンピュータインタラクションと野生動物装着センサネットワーク機構 小林博樹（東大）
10:15	チンパンジーは映像の森を楽しむか？～動物園動物の福祉と研究におけるテクノロジー利用の可能性～ 山梨裕美（京都市動物園）・吉田信明（京都高度技術研究所）
11:00	母鶏模倣型ロボットとのインタラクションによるヒナの行動制御 新村毅（農工大）

12:00 昼休憩

13:30 総会

ポスター発表

場所：セミナールームA/B

時間：14:30～16:30（ポスター掲示は9月1日9:30から可能）

*演題番号が奇数の発表者は14:30～15:10、偶数の発表者は15:30～16:10を責任時間とし、ポスターの前になければならない。

No.	演題および演者
1	終日放牧飼養下の日本短角種繁殖牛群における母子間距離 大神ひなこ・河合正人・伊藤秀一（東海大農・北大FSC）
2	乳用哺育牛における体調不良の進行と容姿の変化 ○新宮裕子・堂腰顕・上田宏一郎（酪農試・北大院農）
3	全血Brix値を用いた受動免疫簡易推定方法のホルスタイン種子牛における有用性 ○田辺智樹・小原潤子・若槻拓司・堂腰顕（道総研酪農試・道総研畜試）
4	ウマにおける精神性発汗の有無の検討 ○田村夏穂子・青山真人（宇都宮大農）
5	畜舎におけるネズミの活動時間・舎内利用状況の解明および駆除が行動に与える影響の検討 ○小泉亮子・清川泰志・谷川力・遠藤友彦・長岡慧・平田滋樹（農研機構・東京大学・日本ペストコントロール協会・大丸化成薬品(株)）
6	障害物の認識に関わるシカの前方向視野は？ ○中村南美子・太田しゅう・赤井克己・秋山雅世・中西良孝・高山耕二（鹿大院連農・鹿大農・タイガー）
7	混同色線を用いたエゾシカの色覚特性の推定 ○田内隼人・香取琴・安原大貴・大久保倫子・相馬幸作（東京農大院生物生産・東京農大北農）
8	タヌキのタメフン場は人為的移動ができるのか ○加瀬ちひろ・石川佳奈・片岡夏野・塚田英晴・植竹勝治（麻布大獣医）
9	飼育下アマミトゲネズミにおける日周活動性の季節変化 ○木村佳鈴・古谷愛優加・加瀬ちひろ・豊田英人・宮澤彩希・植竹勝治（麻布大獣医・埼玉県こども動物自然公園）
10	異なる展示様式への移動がシロテナガザル(Hylobates lar)の行動に及ぼす影響について ○木村嘉孝・高司佳秀・八代梓・伊藤秀一（宇部市ときわ動物園・豊橋市総合動物園・東海大学農）
11	ハンドウイルカにおける吐き戻し行動の低減策—気泡発生装置を用いた効果の検証— ○陳香純・川端麻友・中島定彦・河野夏凜・朝野さち子・酒井麻衣・土屋祐（関西学院大学文学部・近畿大学農学部・京都水族館）
12	障害物の設置による飼育下のクマのペーシング行動への影響 ○小針大助・加藤愛子・木村聡志・高原和之・大内勇・中本旅人・生江信孝（茨城大農・日立市かみね動物園）
13	AI技術を用いたチンパンジーの認知課題出席管理 ○田中正之・吉田信明（京都市動物園・京都高度技術研究所）
14	複数頭飼育下のイヌたちの親密度評価行動リストの作成 ○米谷さくら・山田弘司（酪農学園大学）

16:30 優秀発表賞授賞式・閉会の挨拶